

## 水素が燃料「燃料電池フォークリフト」をトライアル利用 ～「燃料電池フォークリフトマッチング導入支援事業」に採択～

空港施設株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：田村 滋朗、以下「当社」）は、東京都産業労働局が公募した「燃料電池フォークリフトマッチング導入支援事業」に応募し、トライアル事業者として採択されました。

当社は、国土交通省が推進するエコエアポートの趣旨に賛同し、空港、空港周辺において環境への取り組みを推進しております。その一環として、当社が管理運営する羽田空港国内航空貨物ターミナル地区において、水素を燃料とする「燃料電池フォークリフト(以下、FCFL)」の導入を検討しており、昨年6月に航空会社やフォワーダー向けにFCFL 試乗会を開催いたしました。今般、導入の検討を更に進めるため、一定期間、東京都の支援によりFCFL のトライアル利用ができる「燃料電池フォークリフトマッチング導入支援事業」に応募し、トライアル事業者として採択されたものです。



【22年6月 試乗会の様子】

今後、約2か月間のトライアル期間において、羽田空港国内航空貨物ターミナル地区にご入居のお客様にFCFLを通常業務でご利用いただき、機能性、操作性を体感する機会を提供するとともに、導入効果の検証を実施し、FCFL 導入の可能性を探ってまいります。

当社は、エコエアポートやカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを加速させてまいります。

### 【トライアル事業 概要】

実施期間	2023年12月4日～2024年1月31日
実施場所	羽田空港国内航空貨物ターミナル

### 【FCFL スペック】

燃料(水素)充填時間	3分
CO <sub>2</sub> 排出量	0kg

以上

### 【本件に関するお問い合わせ先】

空港施設株式会社 広報・IR 室

電話：03-3747-0953（9：00～17：00）

※土日祝日を除く